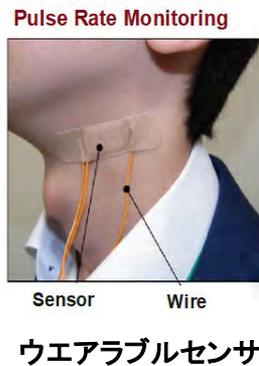
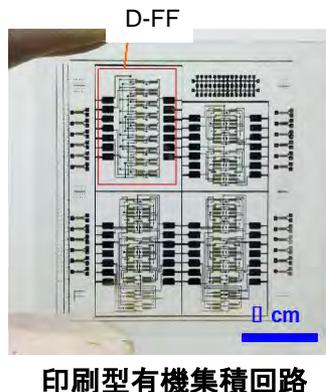
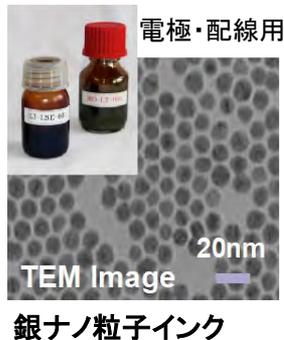
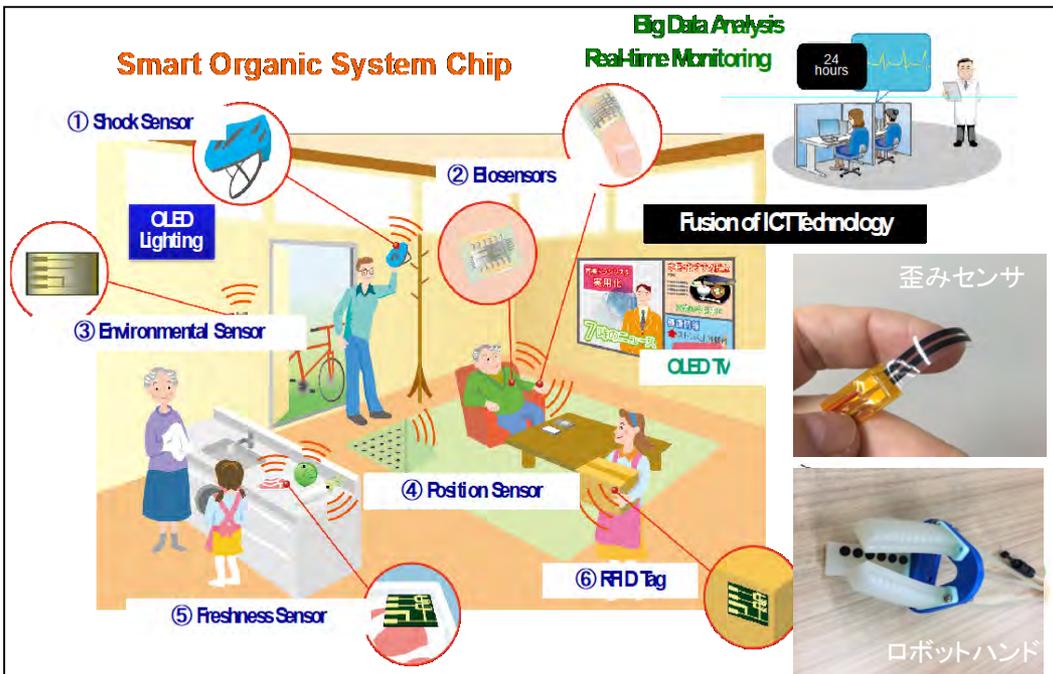


フレキシブル印刷型有機エレクトロニクスの基盤技術と応用展開

キーワード[有機半導体, トランジスタ, センサ、無線タグ、印刷法]教授 時任 静士



内容:

印刷手法を活用した「ものづくり」は次世代のエレクトロニクスの要となることが期待されています。環境に優しく、低コストに製造することが可能で、軽くて柔らかい、つまりフレキシブルな電子デバイスを実現できます。当部門では有機半導体や金属インクなどの材料の分子設計・合成からデバイス作製・評価、物理現象解明、デバイス応用まで、一貫した研究・開発を進めています。応用の代表例は、健康管理、ロボット、物流分野への応用を目指した触覚や歪みセンサ、バイオセンサ、メモリー、無線通信タグ等があります(左図参照)。また、印刷法の高度化として、超微細印刷技術や立体物表面に適用できる印刷技術の開発も進めています。

アピールポイント:

国内外の企業との積極的な連携により、これらの研究開発を加速し、社会実装することで、安心・安全な社会実現への貢献を目指します。

分野: 有機デバイス分野
専門: 有機材料科学、電子デバイス
e-mail: tokito@yz.yamagata-u.ac.jp
TEL : +81-238-26-3725
FAX : +81-238-26-3788
HP : <https://tokitolabo.yz.yamagata-u.ac.jp/>

